

Let's try!

セルフメンテナンス

冬のカビ対策

空気が乾燥する冬でも、屋内ではカビに注意！新しい住居ほど気密性が高く、暖房の使用で結露が起こりカビの発生につながります。結露の処理だけでなく、すまい全体でカビ予防をしていきましょう。

そもそもカビとは？

菌類の一種であるカビは、世界になんと数万種類。なかでも室内に発生するカビは 25℃前後で活性化し、60%以上の湿度があれば爆発的に増殖します。お風呂などの水気が多い場所だけでなく、室内にたまったホコリも湿気を吸い、カビの温床になってしまいます。

何が怖いのか？

カビの胞子を含んだ空気を吸い続けていると、アレルギー性鼻炎や気管支ぜんそく、肺炎などを引き起こす恐れがあるほか、発熱やせき、呼吸困難などの症状を伴う肺真菌症にもつながります。家族の健康を守るため、日ごろからカビ予防に取り組みましょう。

発生しやすい場所のお手入れ方法

お風呂場

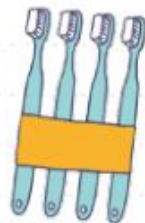
入浴後、浴室内の湿度と温度を下げて、カビの発生をおさえましょう。水気を切り、長時間乾燥機を回しておくのも重要。日用品でもカビ予防ができます。



- ・使用後、冷水をかける
- ・使用後、スクイジーで水切り
- ・掃除後には線香をたく（除菌効果あり）
- ・ゴムパッキンやタイルにロウソクを塗る（撥水効果あり）

台所

歯ブラシ4本を並べてガムテープで固定した専用ブラシを作れば、排水口の掃除がしやすくなります。冷蔵庫内は低温でもカビが発生するので要注意。



- ・排水口のごみ受け専用のブラシをつくる
- ・排水口のごみ受けにアルミホイル
- ・冷蔵庫の内側を消毒用エタノールで拭く
- ・冷蔵庫内に練りわさびを入れた小皿を置く（抗菌効果あり）

洗面台

3日に1回程度、フッ素入り歯磨き粉を洗面ボウルに塗ってカビ予防に。すすぎは1回にしておくのがポイント。たまりやすい髪の毛やホコリはきちんと掃除を。



- ・歯磨き粉を洗面ボウルに塗る（フッ素でカビ予防）
- ・髪の毛とホコリはこまめに掃除

リビング

エアコンを内側まで掃除するのは大変なので、外側だけでも頻繁に消毒を。カーテンレール上のホコリは静電気が発生する用具で掃除しましょう。



- ・エアコンの外側を消毒用エタノールで拭く
- ・カーテンレールのホコリをこまめに掃除
- ・リモコンを綿棒で掃除 & ホコリ予防

もしカビが発生したら…

もしカビが発生してしまったら、市販のカビとり剤や家にあるものを使ってカビを取り除きましょう。黒カビは色素が定着しやすいので特に注意。

・カビとり剤

市販の塩素系カビとり剤が、手軽な対処方法。酸性の薬剤と混ぜると有毒ガスが発生するので取扱には要注意。



・家にあるもので殺カビ

酸素系の液体漂白剤と片栗粉を1:1で混ぜると即席カビとり剤に。台所用ラップでカビが発生した箇所をしばらくバックしてからこすり落とす。

